

ケニア赤十字社地域保健強化事業

活動期間：2015年9月4日～2016年5月15日

報告者：看護師 二星 智恵子

私はケニア地域保健強化事業の管理要員として、約8か月間ケニア共和国に派遣されました。この事業は、ケニアの首都ナイロビから北東に車で9時間かかる距離にあるガルバチューラ県で行われています。ガルバチューラ県は乾燥地帯で、暑い時は気温が40度を超えることもあります。水不足が深刻で、水の確保が難しい所もあります。住民は一日1ドル以下で暮らしている者も多く、交通機関の発達していない中、最も近い医療施設まで数十キロある状況に置かれています。住民が予防接種や健康相談などの地域保健サービスを受けやすい環境を整えることを目的に、日本赤十字社はケニア赤十字社と協力して2007年からこの事業に取り組んでいます。

今回、ケニアで開始されて8年目になるこの事業に関わりましたが、これまで前任者たちが築いてきたケニア赤十字社や地域の方々との関係を大切に、事業がよりよいものとなるよう心掛けました。

